

1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	農地整備事業 〔経営体育成基盤整備事業（国補）〕	<b>事業箇所</b>	北杜市武川町三吹	<b>地区名</b>	みふき 三吹	<b>事業主体</b>	山梨県
------------	-----------------------------	-------------	----------	------------	-----------	-------------	-----

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 本地区は、北杜市西部の釜無川右岸に位置し、主に稲作が営まれており、食味が良いと高い評価を得ている梨北米の産地である。また、一部水田の裏作や畑では、レタス、ブロッコリー等の高収益作物が生産されている。  
 しかしながら、地区内の農地は区画が狭小かつ不整形で、大型機械の導入が進まず営農条件が悪く、高齢化も進んでいるため後継者や担い手の確保に悩まされている。  
 一方で、地区には規模拡大を希望する農業法人や、地区外から参入を希望する認定農業者など、意欲ある担い手も存在することから、本地域の農業を維持発展させるためには、営農条件の改善と農地の集約化を進めることが重要となっている。  
 このため区画整理の実施により作業効率を改善するとともに、分散する水田と畑を団地化し担い手への農地の集積を進め、梨北米の産地として更なる強化と畑地の有効活用に取り組むものである。

**②整備目標・効果**

□主要目標 ○農業生産力の向上  
 区画整理等の基盤整備の実施により、担い手への農地集積を図るとともに作業効率の向上など地区内の営農環境が改善され、産地の強化が図られる。  
 面積当たり農業所得増加額 2,265千円/ha ≥ 810千円/ha※  
 (※評価基準値)

□副次目標 ○農業用排水能力の向上  
 ・施設老朽度  
 使用年数(47年)÷耐用年数(30年) = 1.56 ≥ 1.0※  
 ・用排水能力向上率  
 (計画用排水能力) 0.20m<sup>3</sup>/s ÷ (現況用排水能力) 0.16m<sup>3</sup>/s = 1.25 ≥ 1.0※ (※評価基準値)

□副次効果 ○遊休農地の解消  
 (遊休農地を農地として再利用する具体的な計画あり)

**(3) 事業の妥当性評価**

**①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）** 妥当 妥当でない

・本事業は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。

**②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）**

・本事業は、農業生産基盤を整備して農作業の効率化や農業経営の安定化を図るものであり「土地改良法施行令」第50条第3項に規定される県が主体となって行うべき事業である。

**③経済妥当性**

総事業費		770 百万円	工期	R5~R12	基準年	R4
経済効率性	費用	589 百万円		便益	734 百万円	
	当該事業費	524 百万円		作物生産効果	286 百万円	
	再整備費等	65 百万円		営農経費節減効果	372 百万円	
	B/C	1.2		国産農産物安定供給効果	82 百万円	
				維持管理費節減効果	-6 百万円	

費用便益比（B/C）は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

**④事業実施・規模の妥当性**

・地区内の営農条件改善に必要な整備量としている。

**⑤整備手法の有効性**

・区画整理を行い水田と畑の団地化を進めることで作業効率や営農条件が改善され、今後の地域農業の振興、農地の保全を図るために最も適した計画としている。

**⑥環境負荷等への配慮**

・区画整理は土羽構造を基本として従前の環境の維持に配慮した計画にする。工事による生態系、景観等への影響があると判断された場合には、回避、代替、低減などを踏まえた対策等を講じる。

**⑦事業計画の熟度**

・事業の円滑な推進のため本地区では事業計画にあたり地権者および耕作者を対象とした説明会や営農に対するアンケート調査を実施しており、合意形成の図られたエリアを整備対象としている。

**(2) 整備内容**

**①整備内容** 区画整理 A=15ha

**②着手年度** 令和5年度      **③完成見込年度** 令和12年度

**④総事業費** 約770百万円  
 (国費423.5百万円(5.5/10)、県費211.75百万円(2.75/10)、市費等134.75百万円(1.75/10))

**⑤年度別の整備内容** (事業費)

令和5年度	測量・設計・換地	30 百万円
令和6年度	区画整理	100 百万円
令和7年度	区画整理	130 百万円
令和8年度	区画整理	120 百万円
令和9年度	区画整理	120 百万円
令和10年度	区画整理	100 百万円
令和11年度	区画整理	100 百万円
令和12年度	区画整理・換地	70 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

**⑥既整備内容・期間・事業費**  
 該当なし

**(4) 事業位置図**

[貢献度ランク：a]

地理院地図（国土地理院）を加工して作成

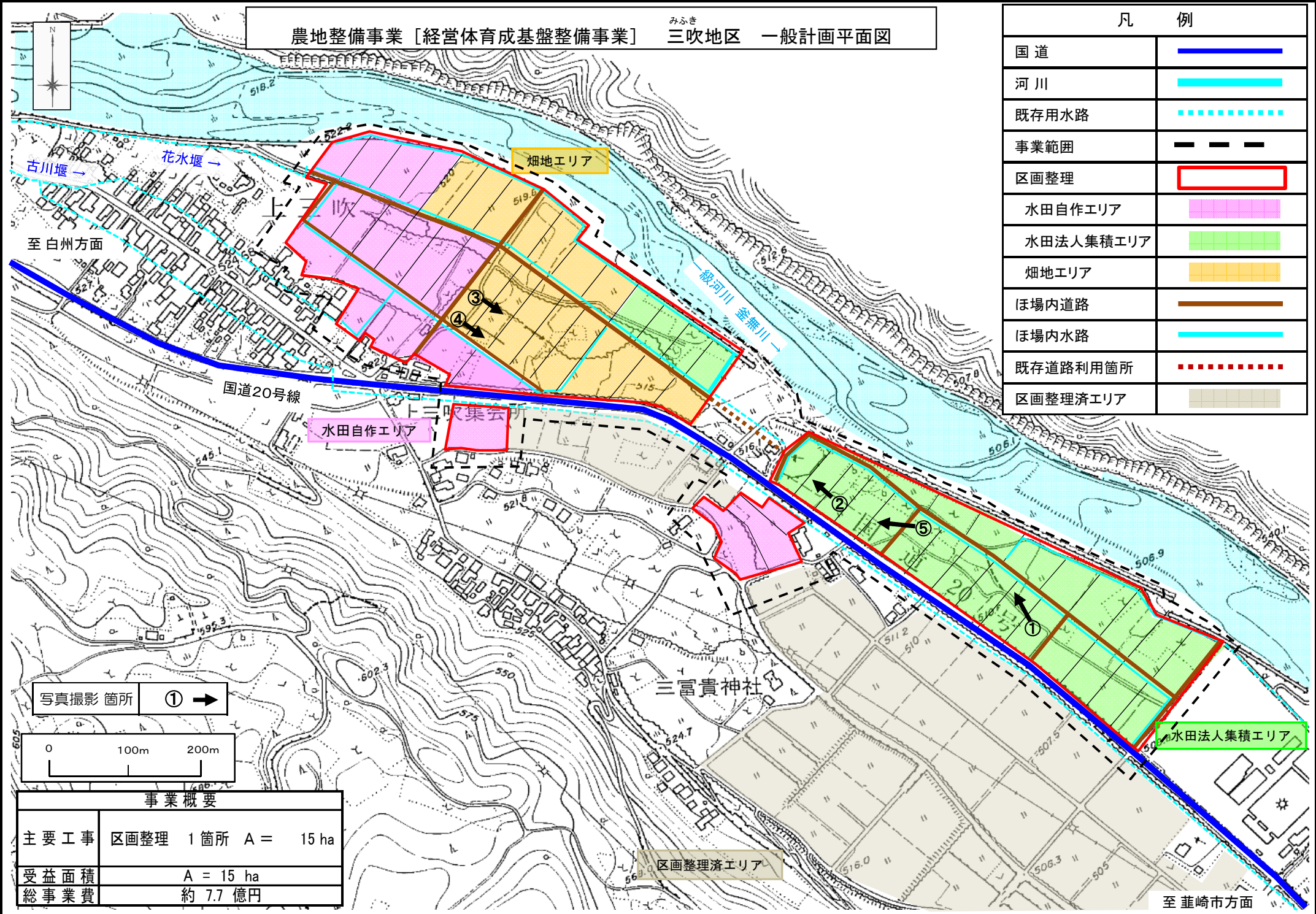
2. 添付資料シート(1)

農地整備事業〔経営体育成基盤整備事業〕

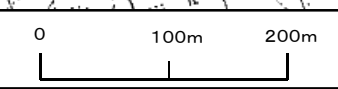
みふき

三吹地区 一般計画平面図

凡 例	
国道	
河川	
既存用水路	
事業範囲	
区画整理	
水田自作エリア	
水田法人集積エリア	
畑地エリア	
ほ場内道路	
ほ場内水路	
既存道路利用箇所	
区画整理済エリア	



写真撮影箇所 ① →



事業概要

主要工事	区画整理 1箇所 A = 15 ha
受益面積	A = 15 ha
総事業費	約 7.7 億円

至 荻崎市方面

## 2. 添付資料シート (2)



写真1

梨北米の作付状況



写真2

狭小で不整形な農地であるため、大型農業機械の導入が困難で、作業効率が悪い。

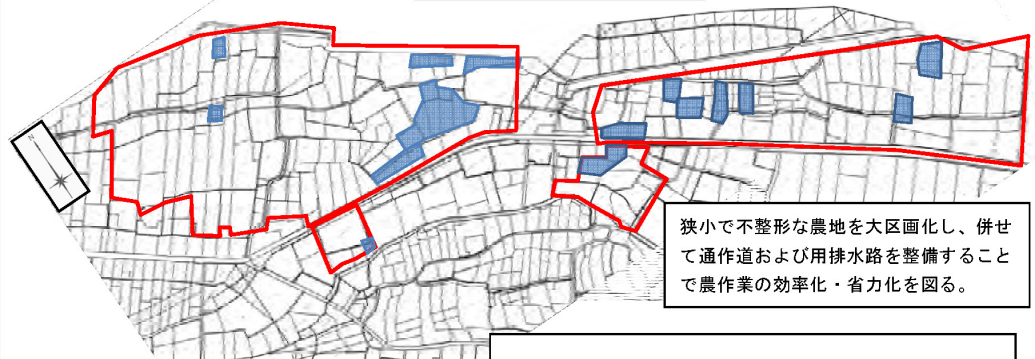


写真3

地区内の水路の一部は古い空石積水路で、漏水もあり維持管理に苦慮している。

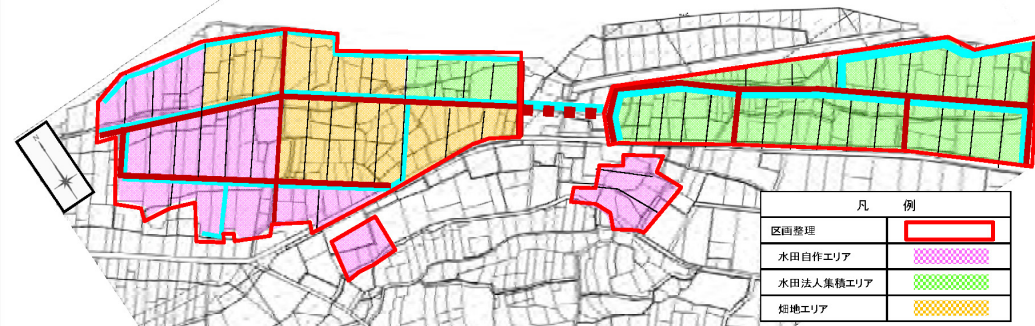
耕作放棄地(1.5ha)

現況の区画形状



狭小で不整形な農地を大区画化し、併せて  
 通行道および用排水路を整備すること  
 で農作業の効率化・省力化を図る。

現況	筆数: 247筆	一筆あたり面積: 約600m <sup>2</sup>
	担い手営農面積: 2.9ha	
計画	筆数: 56筆	一筆あたり面積: 約3,000m <sup>2</sup>
	担い手営農面積: 9.4ha	



凡 例	
区画整理	
水田自作エリア	
水田法人集積エリア	
畑地エリア	

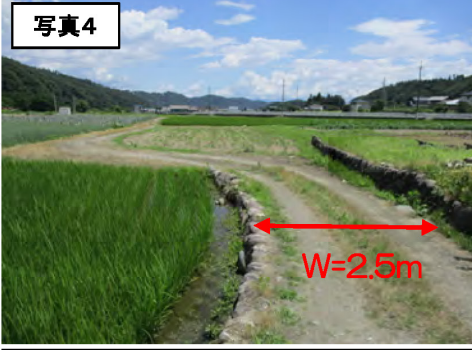


写真4

幅員が狭く、屈曲の多い道路線形で、走行性が悪い。



写真5

エリア内の耕作放棄地の状況

整備後のイメージ



水田エリアは集積・集約化により作業効率を改善し、梨北米の産地として更なる強化を図る。



畑地エリアは地区外から参入した認定農業者がレタス等の高収益作物を生産。